

25 水の恵みに先人たちの偉業を慕う No.1

(麻生田駅～楚原駅まで)

コース約10K 4.5時間

麻生田駅→持光寺・大正図書館→山北家まんぼ→生水まんぼ→善了寺→片樋まんぼ→大神社・水神池→庄屋の墓・員弁第一街道跡→教楽寺→了圓寺→西岸寺→いなべ市郷土資料館→三岐鉄道三里駅→員弁川第一頭首工→めがね橋・ねじり橋→楚原駅



- ① 持光寺・大正図書館**
浄土真宗本願寺派、本尊は阿弥陀如来。大正2年(1913)住職の佐藤巖英が蔵書を公開するために開設した「大正図書館」が本堂の横にある。松宮家から寄贈された『伊勢輯雜記』所蔵。
- ② 山北家まんぼ・生水(しょうず)まんぼ**
この地には、農業用水として築造された横穴式地下水路「マンボ」が残っている。
- ③ 善了寺**
浄土真宗本願寺派、本尊は阿弥陀如来。本堂には蓮如上人染筆の六字名号が掛けられている。
- ④ 片樋まんぼ**
明和末期(1770頃)庄屋の富永太郎左衛門が私費を投じて掘削を行い、安永4年(1775)に完成。しかし、安永大地震に遭って水量が激減したため、文久年間(1861~64)庄屋二井藤吉郎が青川の伏流水に水源を求め、延長工事を行い、総延長は約1km、受益面積は約7haに。
- ⑤ 大神社(おおみわのやしろ)・水神池**
主祭神は大物主大神。神宝として縄文時代後期のものと伝える石剣・石棒が伝来する延喜式内社。承応3年(1654)の大干ばつの時、雨乞いで大雨が降り、桑名領の村々から米を献納して社殿を再建。
- ⑥ 庄屋の墓・員弁第一街道跡**
富永太郎左衛門は、マンボ工事で破産、郷里の其原で他界。村人は員弁第一街道脇に庄屋の墓碑を建て、遺徳を偲ぶ。同所に二井藤吉郎の慰霊碑も建立。



- ⑦ 教楽寺**
浄土真宗本願寺派。平安時代末期、恵心僧都作と伝える観音菩薩立像が安置。
- ⑧ 了圓寺**
真宗大谷派。寛永5年(1628)了圓がこの地に坊舎を建てたのを開基とする。天和3年(1683)恵慶の時、木仏本尊並びに了圓寺の寺号を免許。山門の寺号門柱は「元禄元年(1688)戊辰正月吉日」造立。
- ⑨ 西岸寺**
浄土真宗本願寺派。江戸時代の紙幣、忍国益所札や大井田私札のほか、寺普請の時発行した私札の版木所蔵。
- ⑩ いなべ市郷土資料館**
昭和44年(1969)に大安町役場として建設され、昭和61年より大安町郷土資料館として発足、平成15年に現在の館名に改める。天秤式で屋内に柱がなく、1階より3階の方が広いという特異な建物として「中部建築賞」を受賞。
- ⑪ 員弁川第一頭首工**
昭和39年(1964)4月に竣工。左岸の取入口から「新井水」に、右岸から「大井田用水」に用水を供給。
- ⑫ めがね橋・ねじり橋**
第1次世界大戦の鉄不足時に作成され、珍しいコンクリートブロック製のアーチ橋。特にねじり橋は鉄道が六把野井水を斜めに跨いでいるため、ブロックがねじれたように積まれている。共に平成21年、土木学会の選奨土木遺産に認定。

庄屋の墓・
員弁第一街道跡



大神社



三岐線



西岸寺



北勢線

R365

三笠橋

高柳

イオン大安

三里駅

員弁川第一頭首工



R421

R421

楚原駅

いなべ総合高校

500m